

<目標分野> ※該当するものに全て✓

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化 ✓
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病氣予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

地域観光DMOの設置によるマウンテンスポーツを中心とした通年型マウンテンリゾートとしての誘客できる街づくり

【具体目標】①通年型マウンテンリゾートとして年間観光誘客数100万人。

- ②アクティビティの更なる充実を図り、施設や雇用を生むサービス開発、特にサマーシーズンのアクティビティや事業開発の推進。
- ③マウンテンスポーツ振興による健康づくりと山の楽しさを年間通して村全体で感じられる環境整備の推進

<PRポイント>

- ①【地域観光DMO】2023年設立を目指し、野沢温泉村、株式会社野沢温泉（スキー場運営会社）、観光協会、旅館組合、商工会など自治体と民間が一体となって総合戦略の実施主体、事業の受け皿を経営するなど更に官民一体となった地域づくりを進めます。
- ②【ウェルビーイングビレッジ】四季を通じて、住民も滞在いただいたお客様も村内の自然、遊び、スポーツ、食事、温泉などにより自然と体を動かし、免疫力を高め、身体も心も元気になる街づくりを進めます。

<概要> 計画期間：～令和12年3月31日

<現状・課題>

- ・野沢温泉村は「温泉とスキーの村」として知られ、多くの村民が主要産業である観光業に従事しているが、冬季観光がメインとなっており、自然・環境を最大限に生かした四季を通じた通年型マウンテンリゾートへの変革が求められている。（観光振興⇔地域振興）
- ・少子高齢化を背景とする生産年齢人口の縮小による担い手不足解消を図り、主要産業における若手育成、担い手拡充の推進が必要。
- ・サマーアクティビティ充実を図り、通年雇用の拡大による定住促進、年間をとおしてスポーツを軸にした観光地域づくり、街づくり推進が必要。

<総合的な取組内容>

野沢温泉村長期振興総合計画（野沢温泉村の将来像）
「胸湧きたち 未来へ歩み続ける 湯の郷・野沢温泉」

【具体的事業】

■広域観光DMO（野沢温泉スノーリゾート協議会）の設立（仕組みづくり）

- ・恒常的にソフト事業を実施するための仕組みを作ります。

■マウンテンスポーツ振興（夏季誘客促進）

- ・サマーゲレンデの活用（夏季トレーニング環境整備、デジタル技術を活用した未来型レッスンや検定システムの構築）、多様なアクティビティ（ヒルクライム、マウンテンバイク、SUP、カヌー、トレイルランニング、トレッキングなど）の充実及び環境整備を図ります。

■ウィンタースポーツ振興（冬季誘客促進）

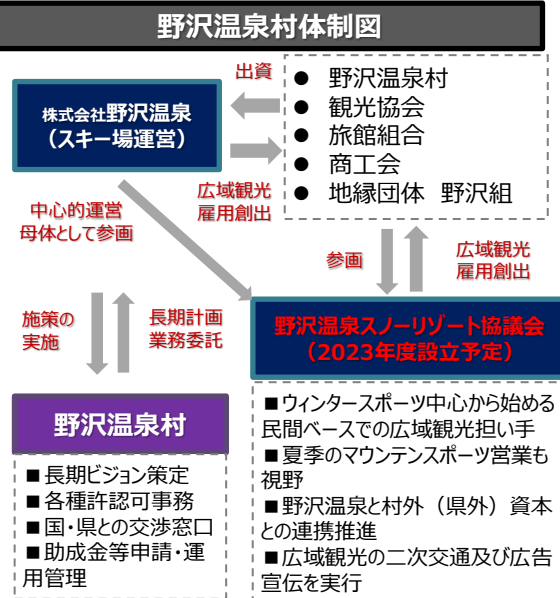
- ・国際大会や都府県単位のウィンタースポーツ大会、障がい者スポーツ大会の招致やスキー修学旅行、合宿の誘致を更に進めます。
- ・インバウンドファミリー層向けのスキー検定や教程の開発を推進します。

■通期通年型の雇用確保（冬季従事者の活用、観光と農業の一体奨励）

- ・マウンテンスポーツ振興にスキーコーチなど冬季観光従事者を活用します。
- ・半農半X施策のひとつとして、冬季観光従事者による夏季農業従事推進を図ります。
- ・地元食材を使った食品開発、加工品開発の推進と地産地消の推進を図ります。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
教育委員会事務局生涯学習係
- 地方スポーツ推進計画
野沢温泉村教育振興基本計画：平成27年
- 地方版総合戦略
地方創生総合戦略：平成28年
第6次野沢温泉村長期振興総合計画：令和2年
- 地域スポーツコミッション
野沢温泉スノーリゾート協議会：令和5年設立予定